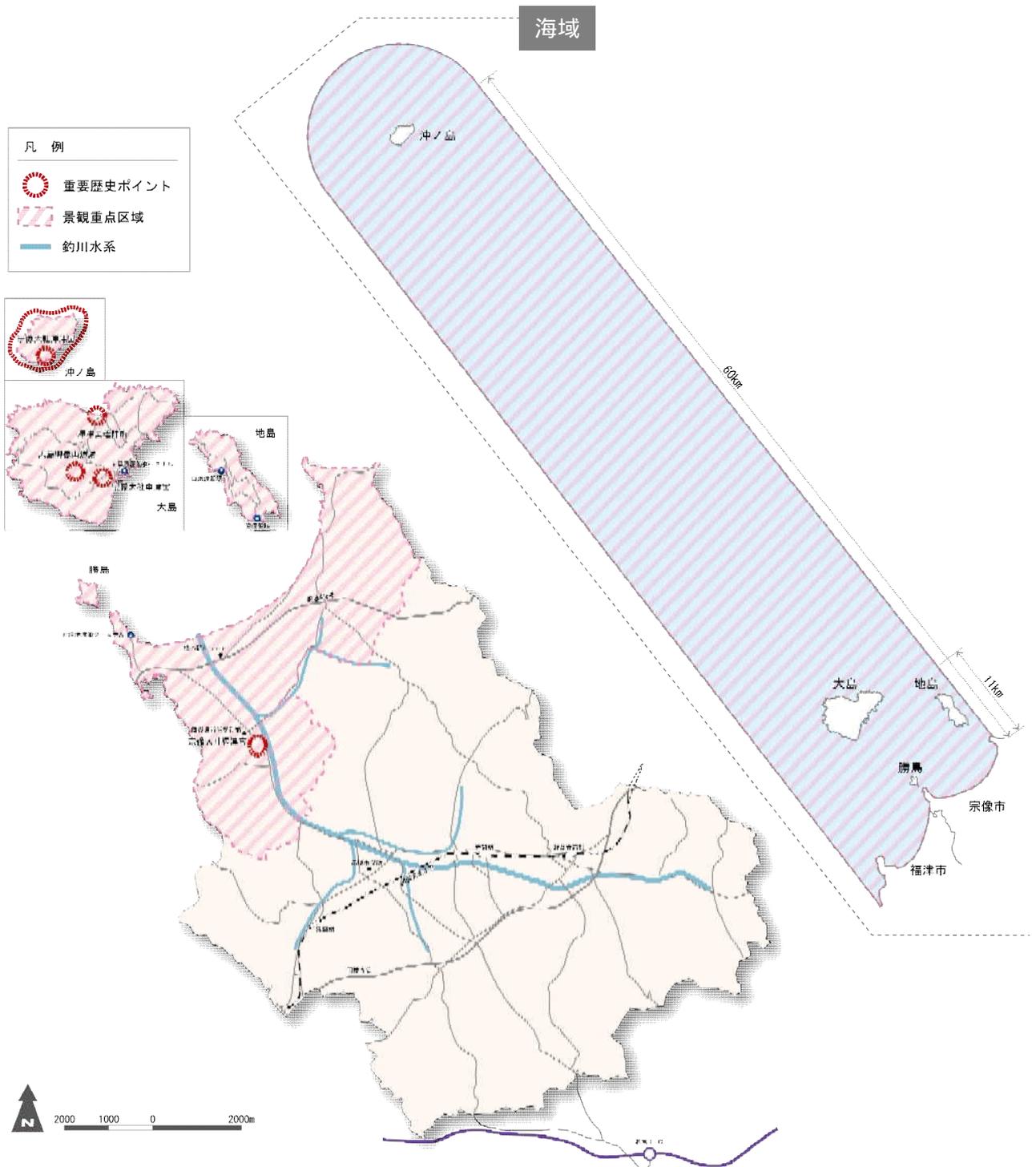


「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産とその周辺の景観が調和するまち

景観重点区域

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産（重要歴史ポイント）周辺に広がる緩衝地帯のうち本土及び島しょ部を景観重点区域と位置づけ、世界遺産登録に向けた保全ルールに基づき、一体的な景観形成や構成資産である宗像大社辺津宮の高宮祭場や大島御嶽山展望台を視点場とした際の眺望景観に配慮し、重要歴史ポイントとその周辺の景観が調和するまちを目指します。



自然景観と調和した沿道景観が形成されるまち

重要歴史・観光軸

歴史・観光軸

海岸・河川軸

若宮インターチェンジや東郷駅から宗像大社辺津宮周辺を通り、神湊港渡船ターミナルへと結ぶ道路や国道 495 号を歴史・観光軸、その中でも辺津宮周辺から神湊港渡船ターミナルにかけての緩衝地帯（景観重点区域）内の道路については重要歴史・観光軸と位置づけ、市内外からの来訪者を導く現代版参道にふさわしい道中となるように、魅力的な沿道景観が形成されるまちを目指します。

また、道路と並行して流れる釣川水系を海岸・河川軸として歴史・観光軸と一体的に位置づけ、釣川をはじめとした周囲の自然景観と沿道景観が調和したまちを目指します。

玄界灘をとりまく景観要素が息づくまち

歴史・観光軸

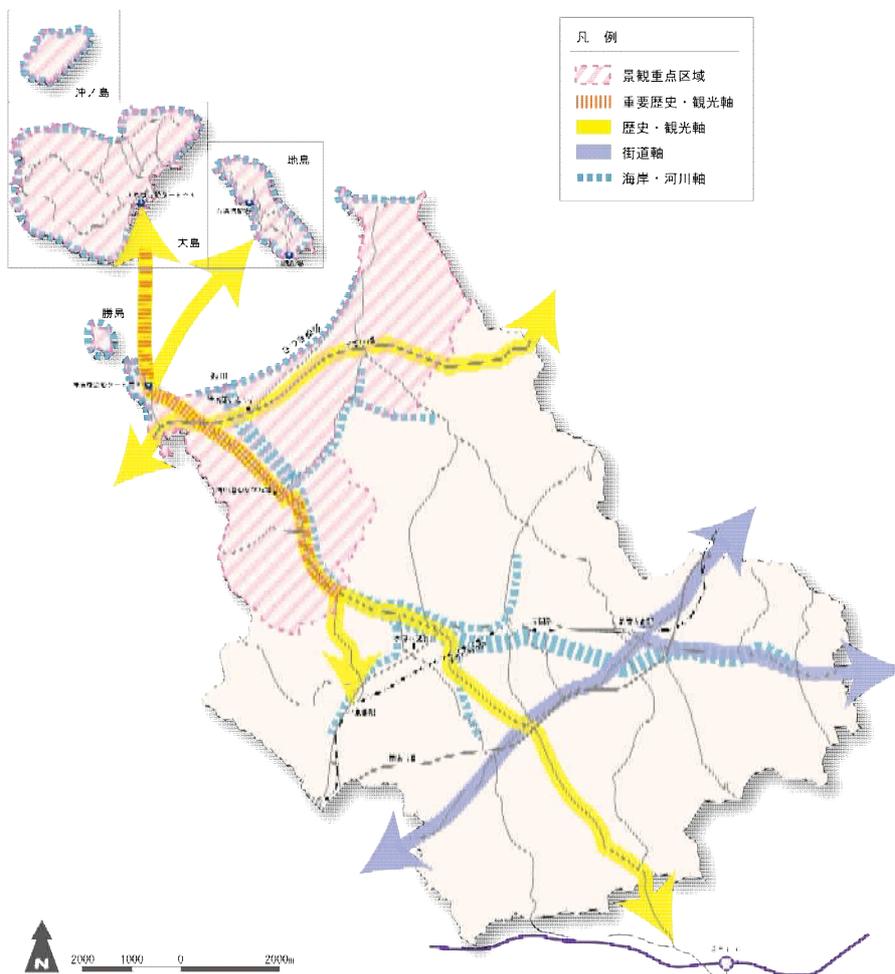
海岸・河川軸

神湊港渡船ターミナルから大島、地島につながる海路である「海の道」に関して、歴史・観光軸として位置づけるとともに、島しょ部を含め玄界灘に面する自然海岸やさつき松原を海岸・河川軸として位置づけ、「海の道」の歴史的なつながりや周辺の自然景観、海側を視点場とした際の陸側の眺望景観に配慮し、玄界灘を取り巻く景観要素が息づくまちを目指します。

旧唐津街道を中心としたつながりのある景観づくりが行われるまち

街道軸

旧唐津街道を中心とした道を街道軸として位置づけ、街道沿いの赤間宿や原町などを景観拠点として、それぞれの地域で景観に配慮したまちづくりを行うとともに街道沿い全体としてハード面、ソフト面の両方で景観上のつながりを生み出す仕掛けづくりを行い、旧唐津街道を中心としたつながりのある景観づくりが行われるまちを目指します。



景観形成方針図

